

法と教育学会 第6回研究集会

2026年3月29日(日) 14:30～ オンライン開催

生成AIと法教育

～法教育は生成AI とどのように向かい合うのか～

企画趣旨

近年、AI の発展と社会実装が目覚ましいことは周知の事実です。そして、知識面で生成 AI に頼ることが散見されるようになっていきます。しかし、生成 AI に頼ることが多くなればなるほど、「子どもが考えることを放棄しないか」という危惧も生じています。こうした状況だからこそ、改めて、「リーガルマインド」という思考力やバランス力が試される状況にもなっています。一方で、(法教育に限らないかもしれませんが) 生成 AI の理解とこれに対応する授業案の開発が必ずしも進んでいません。

そこで、今年の研究集会では、「法教育は生成 AI とどのように向かい合うのか」という問題意識のもとで、これからどのような対応が必要か、法教育で何ができるのかを考える機会にしたいと思います。今回は「生成 AI の法的論点(著作権違反の問題など)」ではなく、「生成 AI が浸透する中で、法教育はどうあるべきか」を考えたいと思います。

内 容

この分野の問題に詳しい太田勝造教授(明治大学法学部)に問題提起していただき、教育現場や実務現場で生成 AI とどのように向き合っているのか、法教育はどうあるべきかなどを指摘してもらい、学生の立場からも実際に生成 AI とどのように接しているのか、意見をもらいます。

この集会では、「学会としてこのような法教育がよい」というものを提示することが目的ではなく、「参加者が考える場」となることを想定しています。「生成 AI について(技術を含めて)知りたいけど生成 AI そのものをよく知らない方」も含め、「生成 AI と法教育で何ができるか?」を皆で考え、参加者が何かしらのヒントを得られる機会にしていきたいと思います。

プログラム (敬称略)

- | | | |
|--------|--------------------------------------|-----------------------|
| 14:30～ | 開会のあいさつと企画趣旨説明 | (帝京大学法学部准教授 長島 光一) |
| 14:40～ | 基調報告 | (明治大学法学部教授 太田 勝造) |
| 15:10～ | 教育の現場から | (江東区立深川第五中学校教諭 阿部 哲也) |
| 15:25～ | 実務の現場から | (弁護士 松尾 剛行) |
| 15:40～ | 学生の立場から | (東京大学法教育サークルのみなさん他) |
| 15:50～ | 全体での検討・意見交換 | |
| 16:30～ | 閉会のあいさつ | (法と教育学会企画委員 中野 宏典) |
| 16:45～ | 意見交換会(研究集会終了後小休憩を挟んで 40～50 分程度・任意参加) | |

参加申込

参加費無料。事前申込が必要です。右の QR コードまたは法と教育学会ホームページの申込フォームからお申し込みください。

問合せ先

法と教育学会事務局 (gakkai@houkyouiku.jp)

